
ハイロール 施工ガイド

ハイロール2も同様

【更新履歴】

変更年月日	変更内容
平成 20 年 7 月 1 日	新規作成
平成 20 年 8 月 8 日	壁用、他変更
平成 21 年 5 月 12 日	ハイロールの施工（陸棟、青空）変更
平成 21 年 10 月 12 日	樹脂棟受の取り付け変更
平成 21 年 12 月 1 日	青空仕様変更に伴う変更、隅棟際瓦の加工変更
令和 1 年 8 月 21 日	低温環境（5℃以下）における使用について

【1.7 版】

平成 21 年 12 月

株式会社 馬場商店

樹脂棟受の取り付け

1. 樹脂棟受の取り付け

樹脂棟受を設置する間隔

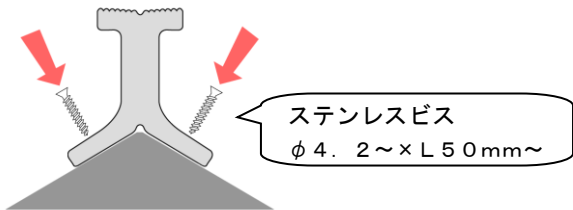
陸棟の場合 455mm間隔

隅棟の場合 910mm間隔以内
(ステンレスビス左右1本止め)

<屋根勾配>

4～5寸勾配を基本に、緩勾配～急勾配にも対応出来るように設計しています。

ハイロールは、「樹脂棟受」のご使用を推奨いたします。



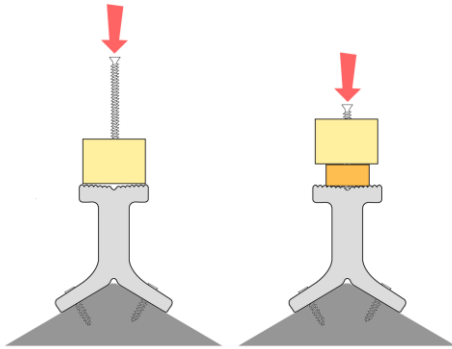
<瓦別・部位別の高さ(目安)>
面戸への風雨等の吹き込みを抑えるよう、高さはできるだけ低めのものを使用して下さい。

	大棟	隅棟	廻り隅
陶器平板瓦	60	80	20
〃	40	60	20
和形瓦	80	95	

(単位: mm)

野地に取り付けた本品に棟垂木を乗せ、

上からステンレスビス(φ4.2～×L75mm～)で固定します。



本品と棟垂木の上に棧木などを挟みこむことで、高さ調節が可能です。

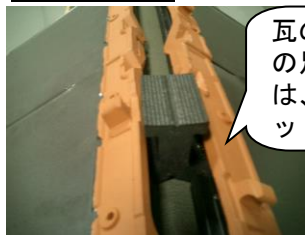
その際、ねじも長いものに変更して下さい。

大棟の納まり



大棟の場合、樹脂棟受のあいだに棧木を打ちます。

大棟の納まり



瓦のツメが樹脂棟受の足に当たる場合は、瓦のツメをカットします。

隅棟の納まり



棧木で高さ調整した例

必ず守る 釘打ち機などは使用しないで下さい。

なぜ? → 十分な強度が確保出来ません。

ハイロールの施工（陸棟・隅棟）

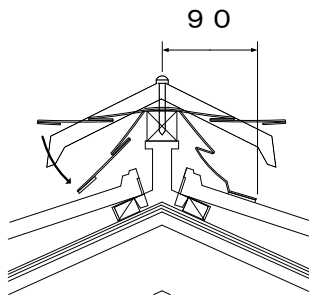
2. ハイロールの施工（陸棟・隅棟）

棟芯から90mmの位置にスミを打ちます。

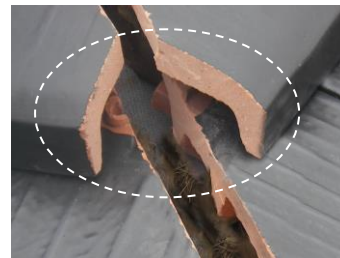
必ず守る 棟際の半端瓦は、コーキング、ビス、シルガード等で強固に固定します。

なぜ？ 瓦のずり落ち、落下を防止します。

必ず守る 雨水が回りこまないよう、隅棟付近の半端瓦はスミ切りをして下さい。



半端瓦を固定します。



スミ切りをします。

棟木の上にハイロールをかぶせ、不織布のマーク位置にタッカーで仮止めします。
ハイロール同士のジョイント部は、10cm以上重ねます。



必ず守る 隅棟の場合は、軒先から上方向に向けて施工します。

なぜ？ プリーツの折り目が逆目となり、水はけが悪くなるためです。

ブチルテープを瓦の凹凸に沿って伸ばしながら隙間ができないように貼り付けます。

注意！ ローラーや先端が尖ってないへらを使うことで、より確実・迅速に施工できます。



必ず守る 屋根材の表面の汚れをウエス等で拭き取ってから、貼り付けてください。

なぜ？ 本来の粘着強度が発揮されず、剥れの原因となります。

必ず守る 瓦の表面が雨などにより濡れている場合は、施工はできません。

なぜ？ ブチルテープが有する、本来の粘着強度が発揮されない場合があります。
また、滑落事故の原因にもなりますので、施工はしないで下さい。

ハイロール2も同様

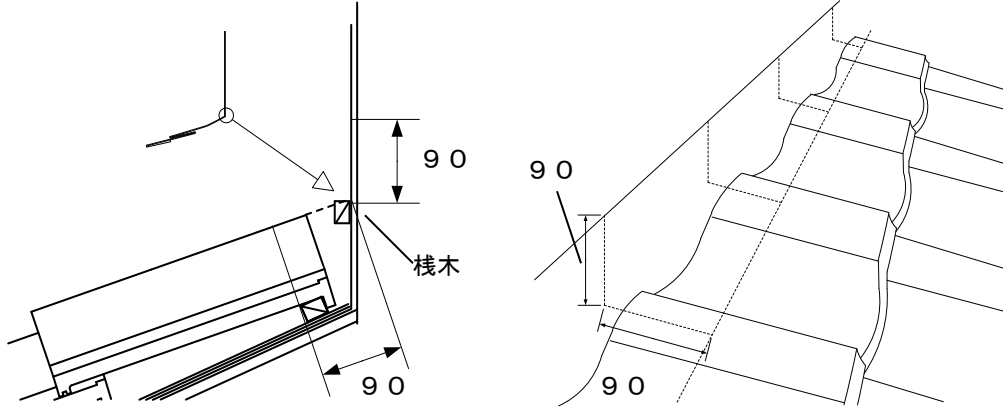
注意！

低温環境下（～5℃）の施工
他の建材同様、屋根材表面の結露や、ブチル自身の硬化で接着にくくなります。
午後など結露のない環境や保温環境で保管するなど、特にご注意願います。

ハイロールの施工（平行壁）

3. ハイロールの施工（平行壁）

ハイロール（壁用）を中心線に沿って折り曲げ、壁面と屋根面の接線にそって当てはめ、上端・下端のブチルを壁面に貼り付けます。

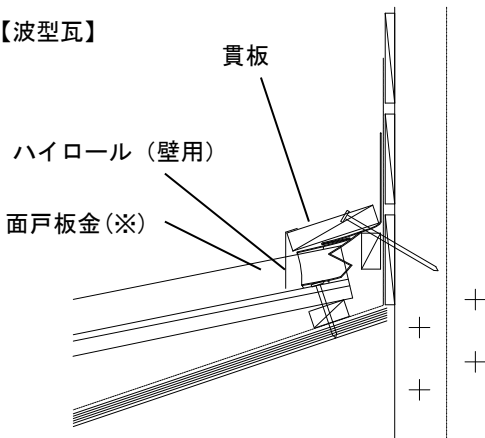


下端のブチルが瓦に届かない場合は、折り重ねられた部分を伸ばして貼り付けます。



貫板（18×90）をビス（φ4.2～×L75mm～）で固定します。

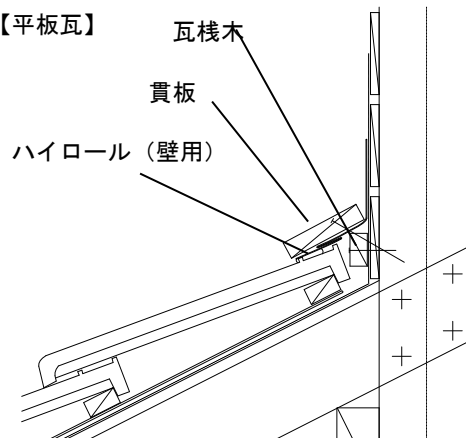
【波型瓦】



平行壁（波型瓦）



【平板瓦】



出隅部



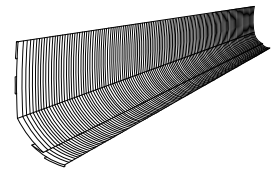
ハイロール2も同様

注意!

壁際の瓦を葺く前に、貫板をビスで固定できるように、壁面に瓦桟木を留めつけます。

注意!

上下を間違えないようにします。
→下端（瓦に貼り付ける側）には、折返しが付いています。



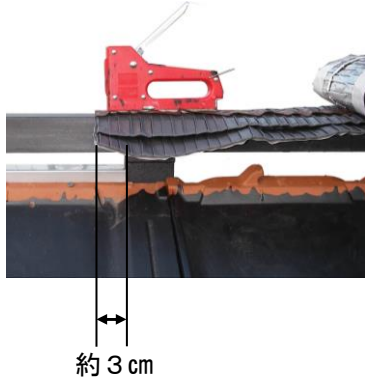
面戸板金は3タイプ

- ・エスパニカ/セラム21用
- ・カパラス用(KJ/KS)
- ・セピオ/和形用

ハイロールの施工（青空）

4. 青空とのジョイント部分の施工（平板瓦）

- ① ハイロール（平板用）を青空の端部から 3 cmほど被せます。
- ② 青空のカバー部を取り付けます。

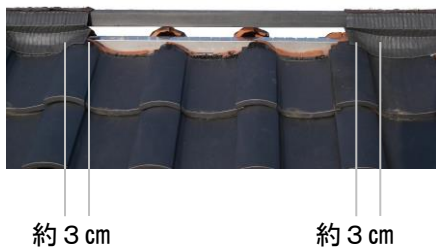


5. 青空とのジョイント部分の施工（波型瓦・和瓦）

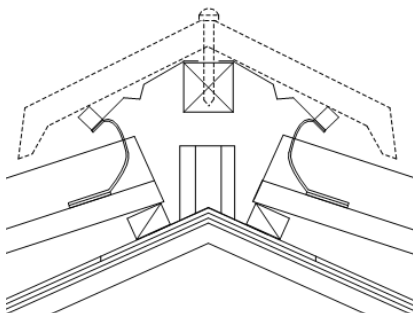
- ① ハイロール（波型用）を青空カバー部の端部の内側に貼り付け、「コ」の字状に折り曲げます。



- ② ハイロール（波型用）を青空の端部から 3 cm（通気口の半分を覆う）程度まで被せます。
- ③ 「①」で作成した青空カバー部を取り付けて、瓦に貼り付けます。



【青空部の断面図】



ハイロールの施工（その他部位）

6. その他部位の施工

軒先部



切妻頂部



三つ又部



三つ又部（廻り隅、さし棟）



ふれ棟部

本谷の端部と上端沿って逆 U 字形にシーラーを取り付け、ハイロールの裾部を下に延伸させて本谷に接着します。

